

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

令和4年3月、川井地域の人口は13,812人、高齢者は3874人、高齢化率28.05%となり、毎年上昇しています。区域の大半は市街化調整区域で、自然土地利用が多く緑に恵まれています。住民事務等で地域住民の交流は継続しています。今後は多世代交流居場所の促進を重点的に見据え、学校との連携強化をしていきます。また、地域特性を踏まえて、地域課題を専門的な視点でとらえて地域のテーマでもある「多世代がつながる、支えあう心豊かな町」となるよう業務運営していきます。

今年度の重点的な取組

新規  
継続

— 具体的な取組内容 —

- 地域見守り活動の後方支援をしながら、ケアプラザの役割を広い世代へ周知し、迅速な支援につなげる。
- 第4期地域福祉保健計画の地区別計画を地域と一緒に実施し、内容に沿った自主事業や周知活動を行う。
- 毎月専門職間会議を通じた情報の共有をおこない、地域の状況変化を素早く察知する。
- 地域への障がい・認知症・人権理解講座をわかりやすく開催することで地域福祉の啓発活動を促進する。
- 活躍している地域の方の活動を広報誌等で紹介をし、ボランティアのきっかけづくりや、活躍の場の拡充をする。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和4年度は学校連携強化に努めた。エリア内の学校が150周年、50周年など式典が催され、学校関係者も地域連携に協力いただいた。式典でのケアプラザのサークル発表や学校への福祉教育、PTAの方へのケアプラザ相談窓口の周知につながった。小さいころから福祉に関わることを目標とし、小中高校への福祉教育、デイサービスでの高齢者との関わる機会を持つことができた。

地域ニーズをとらえ、地区別計画である「健康寿命を延ばそう」+「住民同士がつながろう」の目標に対し、地域の開催希望があった「ポッチャ大会」を多世代で行えるよう、多世代にむけたポッチャ教室開催した。小学校でのポッチャ教室では、講師に地域のかがやきクラブの方、参加者には車椅子ポッチャ当事者の方の協力を得て交流の機会を得ることができた。

5職種専門職視点でとらえた情報を共有しながら、支援者につなぐことができた。地区別計画にもある「見える支え合いをしよう」という視点で、地域ケア会議などにて、地域での見守りにより生活が継続できているケースを地域支援者と共有することで、だれもが住み慣れた地域での生活の継続ができる事を支援者と共有することができた。

地域の方が様々な視点で見守ることができる地域を、地区社会福祉協議会と目指し、認知症啓発事業を行った。人権理解講座や後見人理解講座など介護に直接携わる世代として、中学校のPTA役員に対してケアプラザの相談業務、認知症の方への接し方の講習を行うことができた。

毎月広報誌で地域活動やボランティア活動周知を行った。ちょこボラの運営委員会へ参加を継続し、ボランティアの担い手ニーズの把握と困りごとの共有、解決に向けた話し合いを行った。身近な地域で活躍しているサロンへの顔出しの継続、地域アセスメントにて集いの場検討等地域の方との情報交換を行った。

区からのコメント

- ・地域ニーズを5職種で受け止め、学校との連携やポッチャ大会の企画など多世代交流を図る事業を実施しています。地域活動の担い手不足という大きな課題に対して、引き続き地域人材の発掘・育成を目的として、働き・子育て世代を対象とした事業企画やICTを活用した情報発信、学校や多分野の事業者等とのネットワーク構築に努めてください。
- ・定期的な会議以外にも地域支援記録を活用するなど、各職種間の情報共有方法を工夫しています。地域の情報を5職種で共有することで個別課題から地域課題を捉え、地域住民の強みを活かせるような自主事業の展開をしています。ギターCLUBかわいは旭高校と連携し活動している素晴らしい取り組みです。引き続き、それぞれの職種の視点、強みを活かした支援が出来るようにケアプラザ全体で取り組んでください。
- ・認知症啓発事業や地域支援者・関係者との連携における取り組みが充実しています。次年度以降も継続して取り組んでいただくとともに、地域課題にあわせた取り組みを行ってください。

# 令和4年度横浜市川井地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	職員の言動を含め、利用者等また他の事業者からの不信を招く事がないよう、公正・中立性を持って対応します。また、事業者の選定の相談をした方に対し、事業者等一覧表等を掲示する等、複数の選択肢がある事を相談者が知る機会を設けた上で相談者の意思を尊重し、最終的に相談者が選定の判断ができるようご案内します。	事故防止マニュアルに基づき、対応フロー、連絡体制、報告判断基準を明示しています。正確な動作を行う事を徹底するとともに、研修等も実施します。また、個人情報保護規程に従い適切な取扱いをマニュアルに定め研修も実施していきます。個人情報保護チェックリストを用い年1回以上はセルフチェックを行い注意喚起していきます。
実績	事業者の選定の相談をした方に対し、事業者等一覧表等を掲示する等、複数の選択肢がある事を相談者が知る機会を設けた上で相談者の意思を尊重し、最終的に相談者が選定の判断ができるようご案内し、公正・中立性を持って対応しました。	事業所内で事故防止、個人情報保護事故防止研修を1回/年実施しました。個人情報保護チェックリストを用い年1回セルフチェックを行いました。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、実行できている。	介護保険法等の関係法令を遵守し、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮した事業ができています。
利用料金・実費負担		
職員体制	保健師 1名 主任介護支援専門員 1名 社会福祉士 1名	管理者 1名 介護支援専門員 4名(常勤兼務1名 常勤専従3名)
契約者数	122名	136名

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	・ご利用者の意向を伺いながら、多様化するご利用者ニーズに応じていけるデイサービスを構築していきます。 ・機能訓練プログラムの拡充を図り、身体機能の維持、向上に努めます。	・家族会等を通じてご家族と顔の見える関係性を築き、ご家庭で抱える問題を共有し、介護負担の軽減に繋がります。 ・個々のご利用者特性を把握し、可能性を引き出せるケアを実践します。	
実施体制	【実施日数】 365日 【提供時間】 9:35～16:35 【定員】 42名	【実施日数】 365日 【提供時間】 9:35～16:35 【定員】 12名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	食費750円・教養娯楽費・紙パンツ、おむつ各種100円・尿とりパット20円・時間延長費用600円/30分	食費750円・教養娯楽費・紙パンツ、おむつ各種100円・尿とりパット20円・時間延長費用800円/30分	
職員体制	管理者 1名 介護職員 15名 生活相談員 4名 その他 12名 看護職員(機能訓練指導員兼務) 3名	管理者 1名 介護職員 9名 生活相談員 4名 機能訓練指導員(看護職員兼務) 3名	
契約者数等	【延べ利用者数】12309 【契約者数】144	【延べ利用者数】3175 【契約者数】30	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市川井地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>収入の部</b>						
指定管理料	15,910,300	296,716	16,207,016	16,011,445	195,571	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	228,850	△ 228,850	
横浜市による運営支援		237,000	237,000	237,000	0	
雑入	0	0	0	29,067	△ 29,067	
印刷代			0	10,400	△ 10,400	
自動販売機手数料			0	10,560	△ 10,560	
その他			0	8,107	△ 8,107	
その他	7,338,726		7,338,726	7,338,726	0	
収入合計	23,249,026	533,716	23,782,742	23,845,088	△ 62,346	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>支出の部</b>						
人件費	15,421,284	0	15,421,284	14,104,150	1,317,134	
本俸	11,210,284		11,210,284	9,714,743	1,495,541	
社会保険料	1,600,000		1,600,000	1,590,548	9,452	
手当計	2,500,000		2,500,000	2,666,835	△ 166,835	
健康診断費	6,000		6,000	6,016	△ 16	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	105,000		105,000	126,008	△ 21,008	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,984,305	0	1,984,305	1,216,852	747,453	
旅費	20,000		20,000	11,033	8,967	外出交通費
消耗品費	200,000		200,000	173,105	26,895	事務用品他
会議費	15,000		15,000	16,335	△ 1,335	運営協議会経費他
印刷製本費	120,000		120,000	106,283	13,717	複合機カウンター料金
通信費	260,000		260,000	212,015	47,985	電話料金、郵送料他
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	0	100,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	26,000		26,000	14,889	11,111	
職員等研修費	20,000		20,000	8,008	11,992	
振込手数料	1,000		1,000	474	526	
リース料	200,000		200,000	191,520	8,480	簡電機器レンタル料、PC、マッドレンタル料他
手数料	0		0	63	△ 63	
地域協力費	10,000		10,000	0	10,000	
その他	981,745		981,745	472,567	509,178	簡電機器管理費、産業医委託費他
事業費	550,000	0	550,000	467,671	82,329	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	550,000		550,000	467,671	82,329	
その他	0		0	0	0	
ICT整備費（追加）	0	194,458	194,458	194,458	0	
ICT整備費（追加）	0	194,458	194,458	194,458	0	
サニタリーボックス（追加）	0	10,000	10,000	3,712	6,288	
サニタリーボックス	0	10,000	10,000	3,712	6,288	
管理費	4,839,437	0	4,839,437	7,224,584	△ 2,385,147	
光熱水費	1,539,437		1,539,437	3,879,857	△ 2,340,420	
清掃費	1,600,000		1,600,000	1,672,719	△ 72,719	
機械整備費	60,000		60,000	75,688	△ 15,688	
設備保全費	1,640,000	0	1,640,000	984,664	655,336	
空調衛生設備保守	600,000		600,000	607,507	△ 7,507	
消防設備保守	50,000		50,000	48,664	1,336	
電気設備保守	270,000		270,000	197,585	72,415	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	19,466	534	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	700,000		700,000	111,442	588,558	設備総合巡視点検業務委託、ガスヒューズ点検
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	611,656	△ 611,656	
修繕費	474,000	92,258	566,258	370,687	195,571	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他		0	0	0	0	
支出合計	23,249,026	296,716	23,545,742	23,582,114	△ 36,372	
差引	0	237,000	237,000	262,974	△ 25,974	

自主事業費 収入	0	0	0	228,850	△ 228,850	
自主事業費 支出	550,000	0	550,000	467,671	82,329	
自主事業 収支	△ 550,000	0	△ 550,000	△ 238,821	△ 311,179	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
--------------------	---	---	---	--------	----------	----------------------

令和4年度「横浜市川井地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,224,684	0	23,224,684	17,314,735	5,909,949	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,480,000		5,480,000	5,480,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0	0	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
横浜市による運営支援		63,000	63,000	63,000	0	
雑入	0	0	0	34,667	△ 34,667	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	10,560	△ 10,560	
その他			0	24,107	△ 24,107	
収入合計	28,858,684	63,000	28,921,684	23,046,402	5,875,282	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,724,626	0	25,724,626	19,371,774	6,352,852	
本俸	15,115,626		15,115,626	10,939,200	4,176,426	
社会保険料	3,200,000		3,200,000	2,613,488	586,512	
手当計	7,000,000		7,000,000	5,399,398	1,600,602	
健康診断費	9,000		9,000	10,926	△ 1,926	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000	408,762	△ 8,762	
その他	0		0	0	0	
事務費	700,000	0	700,000	873,179	△ 173,179	
旅費	70,000		70,000	33,627	36,373	外出交通費
消耗品費	100,440		100,440	59,899	40,541	事務用品他
会議ठी費	3,000		3,000	0	3,000	
印刷製本費	60,000		60,000	57,229	2,771	複合機カウンター料金
通信費	150,000		150,000	159,780	△ 9,780	電話料金、郵送料他
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	26,000		26,000	14,889	11,111	
職員等研修費	10,000		10,000	22,414	△ 12,414	
振込手数料	0		0	254	△ 254	
リース料	100,000		100,000	103,116	△ 3,116	節電機器レンタル料、PC、マツレンタル料他
手数料	0		0	63	△ 63	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	170,000		170,000	411,348	△ 241,348	節電機器管理費、産業医委託費他
事業費	1,034,000	0	1,034,000	660,295	373,705	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	1,647	48,353	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,560	440	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	200,000		200,000	1,088	198,912	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
管理費	1,274,058	0	1,274,058	1,908,857	△ 634,799	
光熱水費	430,558		430,558	1,031,354	△ 600,796	
清掃費	400,000		400,000	444,645	△ 44,645	
機械警備費	15,500		15,500	28,526	△ 13,026	
設備保全費	278,000	0	278,000	261,741	16,259	
空調衛生設備保守	160,000		160,000	161,488	△ 1,488	
消防設備保守	13,000		13,000	12,936	64	
電気設備保守	70,000		70,000	52,521	17,479	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	5,174	△ 174	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	30,000		30,000	29,622	378	
共益費	0		0	0	0	
その他	150,000		150,000	142,591	7,409	設備総合巡視点検業務委託、ガスヒボン点検
修繕費	126,000		126,000	74,011	51,989	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他		0	0	0	0	
支出合計	28,858,684	0	28,858,684	22,888,116	5,970,568	
差引	0	63,000	63,000	158,286	△ 95,286	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	404,000	0	404,000	156,295	247,705
自主事業 収支	△ 404,000	0	△ 404,000	△ 156,295	△ 247,705

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市川井地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	2,798	2,958	-160	3,750	4,075	-325	27,623	29,458	-1,835	120,258	116,617	3,642	10,457	8,752	1,706	56,508	52,310	4,198	
	その他	0	25	-25	0	35	-35	2,800	2,729	71	552	2,663	-2,111	48	111	-63	0	1,531	-1,531	
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0			0	
	補助金事業収益		25	-25		35	-35		60	-60		1,282	-1,282		111	-111		974	-974	
	受託収入			0			0	2,800	2,661	139			0			0			0	
				0			0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0			0	
	その他			0			0		8	-8		552	1,381	-829	48	0	48		557	-557
		<b>収入合計(A)</b>	2,798	2,983	-185	3,750	4,110	-360	30,423	32,187	-1,764	120,810	119,280	1,531	10,505	8,863	1,643	56,508	53,841	2,667
支出	人件費			0			0	22,219	22,065	154	93,197	91,159	2,037	8,104	7,927	177	43,339	42,466	873	
	事務費	76	56	19	82	78	4	1,860	1,786	74	5,313	2,024	3,289	536	176	360	3,057	3,113	-56	
	事業費			0			0	0	0	0	11,000	17,417	-6,417	893	1,553	-660	4,700	6,469	-1,769	
	管理費			0			0	530	928	-398	7,200	5,033	2,167	626	438	188	3,200	1,824	1,377	
	その他	2,102	2,230	-128	2,836	3,072	-235	0	0	0	0	1,324	-1,324	0	0	0	0	6	-6	
	利用者負担軽減額			0			0			0		40	-40			0		6	-6	
	消費税			0			0			0			0			0			0	
	介護予防プラン委託料	2,102	2,230	-128	2,836	3,072	-235						0			0			0	
				0			0			0			0			0			0	
	拠点区分間繰入金支出			0			0			0		1,285	-1,285			0			0	
	<b>支出合計(B)</b>	2,178	2,286	-109	2,918	3,149	-231	24,609	24,779	-170	116,710	116,957	-247	10,159	10,093	66	54,296	53,877	419	
	<b>収支(A)-(B)</b>	<b>621</b>	<b>697</b>	<b>-76</b>	<b>832</b>	<b>961</b>	<b>-129</b>	<b>5,814</b>	<b>7,408</b>	<b>-1,594</b>	<b>4,101</b>	<b>2,323</b>	<b>1,778</b>	<b>346</b>	<b>-1,230</b>	<b>1,577</b>	<b>2,212</b>	<b>-36</b>	<b>2,249</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ガーデンPJ(プロジェクト)	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	平日と休日を織り交ぜ開催し、就労者や学生ボランティアにも声掛けし、多世代交流の場を目指す。定期実施により、顔の見える関係づくりや住民同士がつながる機会とする。他のボランティア活動への参加促進や受け入れて交流を拡充する。	5:地域	1, 4	整備・育成・収穫まで有志ボランティアが主体となって月1回程度の手入れをしながら交流を図る。他の事業とのタイアップ企画を検討する。	7	32
2	よこはまシニアボランティアポイントカード登録研修会	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防や高齢者の社会参加のきっかけとして横浜市での取り組みを推奨し、元気な高齢者の新規ボランティア育成を目指す。	1:高齢者	1	年2回以上の定期実施と地域住民のニーズがあれば、不定期開催も加える方向で検討したい。	1	7
3	GOGO★川井アカデミー	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域にお住まいの高齢者に対し、介護予防や元気づくりについて楽しく学ぶ機会を年間を通じて定期的に提供し、自発的かつ継続的に健康活動や介護予防活動に取り組めることを目的とする	1:高齢者	5	①4/15(運動)体力測定②5/20(運動)③6/17(栄養)④6/29(運動)⑤7/15(認知予防)⑥8/25(口説)⑦9/16(運動)⑧10/21(運動)⑨11/18(運動)⑩12/16(認知予防)⑪1/20(栄養)⑫1/31(運動)⑬2/17(口説)⑭3/9(運動)⑮3/17(運動)	15	350
4	協力医ケアマネ懇談会	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・川井地域ケアプラザの協力医を招き、地域で活動するケアマネージャー等が、訪問診療等の医療連携に関する課題、担当ケースの医療面での不安などを情報交換することにより、より良いネットワークづくりの場とする	6:事業者		4/27,10/26,1/11 (内容)参加者と協力医でお茶を飲みながら相談できる	3	13
5	協力医による健康講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民の健康・介護予防意識の向上につなげる。	1:高齢者		11/9 (内容)地域の関心が高い疾病について、協力医から地域の方へお話しいただく	1	6
6	保健活動推進委員と川井地域ケアプラザの懇親会	平成29年度～	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	年度初めに顔合わせをし、年度内の自主事業等の連携につなげる	5:地域		5/11 ・顔の見える関係づくり ・今年度事業の説明、連携と役割分担 ・協力医との情報交換	1	19
7	体操マスターになろう!	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	地域の青空ラジオ体操、活動団体等で体操を推進できるボランティア育成。	1:高齢者	5	①5/31②6/30③7/29 3回を通してハマトレ・ラジオ体操を修得する 地域支援や活動団体に積極的に携わる方を中心に参加を呼び掛ける	3	49
8	認知症講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症について正しい理解を促し、地域での見守り、早期発見早期対応の普及啓発に繋げる	5:地域	1	9/30 認知症サポーター養成講座・映画上映	1	26
9	健康ひろば	平成27年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	健康に興味を持ち、健康的な生活習慣や介護予防のきっかけづくり。ケアプラザと顔の見える関係づくり。	5:地域	1	11/19 ポッチャ、介護予防につながる活動団体の体験会など	1	26
10	消費者被害未然防止講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民の消費者被害防止の普及啓発	5:地域	1	5/30 川井地区消費生活推進員と共催 特殊詐欺被害防止を普及啓発する「防犯演劇」上演、最新の詐欺・消費者被害の手口を学ぶ。地域交番の警察官も参加呼びかけ。	1	26
11	都岡小学校認知症サポーター養成講座	平成29年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	認知症を正しく理解し、当事者やご家族の困りごとに寄り添い、日常的に誰でも思いうやかりを持って、相手の立場にたって行動するきっかけを提供する。	4:子ども・青少年		12/2実施 45分授業を使って5・6年生を対象に実施。	1	136
12	エンディングノート活用講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	旭区版エンディングノート、もしも手帳を広め、高齢者の権利擁護につなげる	1:高齢者	5	①10/29 ②11/30 ・もしも手帳、在宅医療の活用について ・成年後見制度について ・エンディングノート書き方	2	22
13	介護者の集いふれ愛サロンかわい	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者支援	5:地域	6	毎月1回 1時間程度 介護者同士の情報交換、介護等の情報提供	12	13
14	出張講座 体力測定&介護予防【コロナ中止】	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザから距離のあるエリアの高齢者が自発的かつ継続的に健康活動や介護予防活動に取り組むきっかけづくり ケアプラザの周知	1:高齢者	5	【コロナ中止】 エリア内2か所の自治会館等で、体力測定と介護予防運動講座を実施。 川井地区保健活動推進員、川井地区支え合い連絡会と連携する。	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	協力医の無料健康相談	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康不安、ものわずれ等について、気軽に医療職へ相談できる場の創出	5:地域	1	4/25,7/27,8/24,12/28,1/25,3/8 各回 30分×2組を対象に、ケアプラザ協力医が相談を受ける	5	5
16	ちよこっとボランティアのスキルアップ研修会	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ボランティアメンバーのスキルアップを目指し、年2回の研修会を実施。ボランティアの意欲が落ちないようフォローアップの目的もある。その他にも、運営小会議の中で、認知症の方との接し方など包括支援センターにご協力いただき、年2回実施。	5:地域	1, 5	スキルアップ研修を12/3(1回)実施。地域包括支援センターの協力にて介護保険制度内で、できる事できない家事支援研修を実施。講師：掃除の知識と掃除のコツ(民間業者)	1	22
17	楽しく親子リトミック	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・未就園児を対象に親子のコミュニケーションを深め社会性、協調性を身につける。 ・保護者の仲間作りの場とし、母親のストレス発散と運動不足解消を図る。	4:子ども・青少年		①あいさつ ②CDに合わせて準備体操 ③ピアノに合わせてリトミック体操 ④座って手遊び ⑤身体を動かす ⑥絵本読み聞かせ ⑦雑巾がけ	10	65
18	お習字キッズ	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	学年の違う子ども達の交流を通して、地域の中での繋がりを作る。 また、子ども達に自由な発想や可能性を広げるきっかけ作りとし、楽しめる時間とする。	4:子ども・青少年		・基本的な筆運びの練習 ・ひと月に1枚のお手本を講師にもらい、練習する ・かわいい文化祭や夏祭りで展示する。	19	187
19	親子のお楽しみスペース	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	就学前の子育て中の親子が、自由にくつろげる場所を提供し、地域のつながりを広げ仲間作りに繋げる。 互いに子育ての悩みを話し合う場として、精神面でのつきあいを深めてもらう。	4:子ども・青少年		・机を片付け、ジョイントマットやおもちゃ、絵本を準備する(*新型コロナ対策中は、おもちゃの貸し出しは中止する) ・参加者には、子供を遊ばせながら話し合っていたり、自由にくつろいでいただく	19	0
20	薬剤師体験	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	本物の調剤機械を使って、正しい薬の取り扱いについて身に着ける機会とする。	4:子ども・青少年		薬剤師の指導のもとに、白衣を着て実際の機械でお薬を一包化体験を行う。	1	27
21	ポッチャを知ろう！楽しもう！【コロナ中止】	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザで一括管理している地区社協所有のポッチャを活用し、小学生に地域の老人クラブの皆さんの指導を依頼、ポッチャを通して障がい者や高齢者との交流を自然に楽しみながら多世代交流を図る。	4:子ども・青少年		都岡老人クラブの皆さんを招き、ポッチャ指導と併せ、数名の身体障害者の参加をよびかけ小学生とのミックステームとなってゲーム感覚でいるんな人と交流する。 ⇒コロナで中止	0	0
22	都岡中学校生活福祉委員会福祉体験	R03	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	車いす体験を通して、他者への理解を育む。	4:子ども・青少年	4	ケアプラザ多目的ホールを利用し、車いすの正しい使用方法を理解する。併せてデイサービスの高齢者交流を実施。2グループにわかれて活動。	1	24
23	ダイバーシティあぶら音楽会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	演者には当事者を迎え、音楽に親しみながら、彼らの有する「障壁」についての偏見を払拭する機会とする。当事者の表現の場の提供と、当事者理解をめざす。	2:障害児・者	5	演者には(参加者の)赤ちゃんの泣き声や障害特性による発語や不随意運動が生じる可能性を予め伝え、観客にも障害特性への理解を求め、多様性に向き合い理解しあえる音楽空間を築く。演奏会は2部制とし、途中に演者の障害や疾病についての説明も盛り込む。	10	209
24	ピアノソング	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・ピアノの伴奏で大きな声で歌うことにより、ストレスが発散でき、脳の活性化、健康増進に役立つ。 ・他の人と交わることで地域とのつながりを作る。	1:高齢者		・歌集に掲載の歌、季節に合った歌、はやりの歌などを唄う。 ・講師のリードで、お口の体操の後、プログラムに従って合唱する。 ・途中にリクエストタイムなども設け、リズムを変える。	12	315
25	横浜港へ行こう！	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	令和3年度実施の際、好評を得た企画につき地域交流の一環として今年度も実施を予定する。今回も新規参加者の獲得を目指す。 住み慣れた横浜の普段見ることのできない本牧ふ頭見学を通してハマの歴史にも触れる。	5:地域		横浜市が提供する無料の見学講座の活用。 横浜駅集合・解散とし、無料提供される観光バスで普段は入ることができない本牧ふ頭を見学する。	0	0
26	学習サロン	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	課題を抱えた子ども達の居場所づくり。学習支援を中心とした地域小中高生の交流、地域の中で子どもを支えるボラ活動の場づくり、多世代交流。また、互いに学びあえる支援システムの構築	4:子ども・青少年		・持参したドリルや学習プリントの教材を、旭高校生のボランティアが指導する ・個別に、卓上ホワイトボードを利用して指導する	18	83
27	散歩の会特別企画 重忠公の足跡を辿る～座学～	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	今年度の散歩の会は旭区奨励中の島山重忠公の足跡を辿るため、そのルートや島山重忠の生きた時代について学ぶ機会とする。 比較的男性参加も見込まれる歴史講座を提供することで、新たな男性参加にも期待する。	5:地域		旭区ガイドボランティアの会の講師を招き、島山重忠にまつわる歴史及び秋の「散歩の会」ルートに沿った重忠ゆかりの歴史ルートの解説をいただく。	2	40

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業    2: 地域包括支援センター運営事業  
 3: 生活支援体制整備事業    4: 共催 (1と2)    5: 共催 (1と3)  
 6: 共催 (2と3)    7: 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業  
 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者    2: 障害児・者    3: 養育者及び乳幼児  
 4: 子ども・青少年    5: 地域    6: 事業者  
 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
28	散歩の会	平成20年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	一人では出歩くのが億劫な方に一緒に歩く機会を設ける。 ・運動不足の解消の一助し、新しい友達と交流する楽しさを知って頂くことを期待する。	5: 地域		・季節の移ろいを感じながら歩き、地域を見ながら歩く。 ・春は桜、新緑、秋は紅葉を楽しむことのできるコースを設定する。	2	29
29	菜園隊	平成26年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の方と一緒に「野菜を育てる」という活動を通して、①土に触れる場の提供、②多世代交流、③野菜の栄養、育て方について学ぶ機会の提供④農業ボランティアの活動の場の提供を図る。	5: 地域		(4月～6月) 夏野菜種まき、苗植え付け (6月) じゃがいも掘り(一般参加者募集) (7月～9月) 夏野菜収穫 (9月～10月) 冬野菜種まき、苗植え付け (11月～3月) 冬野菜収穫 (随時) 野菜の育ち具合をレポートにまとめ掲示(参加者で作成)	40	125
30	ナイト骨盤体操	平成28年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	・生活習慣によるゆがみが出る骨盤を本来あるべき位置に調整し、健康への関心を高める ・CPを利用した事のない方や、働いている方にも興味をもって参加いただく ・部屋の利用が少ない夜間の活用	5: 地域		・骨盤エクササイズ ・全身の調整	22	186
31	クリスマス発表会	平成25年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	貸館利用登録団体による活動発表の場を提供し、団体間相互の交流を図り、ケアプラザを身近に感じてもらおうきっかけとする。	5: 地域		貸館登録団体の活動発表の場を提供する。コロナ禍を踏まえ、オンライン開催が可能なかの検討も行う。 難しい場合は、参加団体を2ないし3分割にして、感染防止用の定員に配慮し、実施を見据える。	0	0
32	かわい文化祭	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	貸館利用団体及び、有志地域住民、エリア内の障がい者施設に呼びかけを行い、文化活動で得られた作品を披露する場とする。 演芸活動者には「クリスマス発表会」があり文化活動者にとっての発表の場と位置付ける。	5: 地域		全館を展示会場として、広く日頃より福祉保健活動にこめられる皆さんの作品をお預かりして、土日2日間限定での作品展示会。 障がい者施設は各施設リーフレットの掲示も推奨し、住民周知を促進する。	2	155
33	登録団体説明会	平成25年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	貸館抽選会とは異なり、貸館利用中の困りごとやボランティア相談にも対応する。	5: 地域		貸館を利用されるすべての方々为抓手よく活動いただけるように、日頃発生する貸館利用時の困りごとを共有・解決し、全団体に向けて利用目的と理解を深める。	1	27
34	サマーフェスタかわい(旧、かわい夏祭り)	令和4年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	エリア内旭高校の在校生・卒業生による対談(ともに身体障がい者)を通して地域住民向けの障害理解を深める機会とする。併せて地域内高等学校との連携の促進。	5: 地域		第1部:旭高校パラリンピックアスリートと同校OB東京オリンピックボラによるトーク 第2部:連アートワークショップの提供	1	72
35	手話で歌おう!	令和4年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	聴覚障害者が日常的に使う言語ツール(手話)に気軽に触れてもらえるよう音楽に合わせて手話を交えて歌う事から手話へ親しんでもらい、聴覚障害者理解と啓発を行う。	5: 地域		全6回で1曲手話で歌えるように指導いただく。季節のイベント時にデイサービスで披露しながらご利用者とともに歌い、参加者同士、利用者との交流をする。最終回までに自己紹介も見える。	6	30
36	ギターClubかわい	平成3年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	講師は全面ボランティア協力のため事業費を使うことなく、またウクレレではなく歌えてギター講座とすることで若い世代や男性の参加率の向上を目指す。福祉施設でのボランティア演奏を目指すことで自主化を促進する。	5: 地域		ケアプラザデザイナー職員ギターリストをリーダーとして、すでにギターが眠っている方を対象にみんなで合奏を合言葉として慰問演奏を目指した活動と位置付ける。	29	158
37	貸館抽選会	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	貸館利用団体に向けた公平な予約会の提供を目指す。併せて貸館利用時のルール説明や事業案内、福祉保健に関わる情報提供の場としても活かす。	5: 地域		2か月先、3か月先の貸館予約の順番を抽選により決定し、毎回し引きという公平性を維持しながらのお部屋の予約提供を行う。	12	229
38	都岡小学校人権学習1年・6年	平成29年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	小学校ニーズにお応えする形で、ケアプラザとして提供する福祉啓発事業を行う。活動を通して、小学生との交流、顔の見える関係づくりの構築を目指す。	4: 子ども・青少年		1年生と6年生の校内「フレンドシップ学年」合同で視覚障がい啓発講座を提供。市立盲特別支援学校卒業生のシンガーソングライターKo-sei氏を招いてピアノの弾き語りや聴き、伴奏に合わせて「虹」を踊る。	1	121
39	都岡小学校人権学習2年・5年	平成29年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	小学校ニーズにお応えする形で、ケアプラザとして提供する福祉啓発事業を行う。活動を通して、小学生との交流、顔の見える関係づくりの構築を目指す。	4: 子ども・青少年		2年生、5年生の校内「フレンドシップ学年」合同で認知症サポーター養成講座を実施。講座後にオンジカードを配布し、認知症支援の啓発を併せて呼びかけを行う。	1	103
40	川井地区ジュニアボランティア認知症サポーター養成講座	R4	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	民生委員・児童委員協議会からのニーズにお応えする形で、ジュニアボランティアが認知症について理解を深める機会を提供する。	4: 子ども・青少年		R4.8.8 ジュニアボランティア活動の一環として、45分間の認知症サポーター養成講座を実施する。	1	29



<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
41	ピリープ	R04	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	エリア内の県立旭高校生をボランティア起用し県立三ツ境養護学校との生徒交流を通して障害理解と生徒間交流を深める。	4：子ども・青少年		全6回で1曲手話を使ってマスターする。簡単な挨拶と自己紹介も覚え、聴覚障害者との書記コミュニケーションツールとしての活用を見据える。	3	43
42	横浜市都岡中学校PTA成人保健委員会共催 介護は突然やってくる	R4	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	高齢者の子世代にあたる中学生の保護者に地域の相談窓口として地域包括支援センターを知っていただく。	5：地域		R4.11.24 都岡中学校にて実施。ケアプラザの存在と機能、介護の相談窓口である地域包括支援センター、介護保険の概要、旭区認知症ケアパスガイドについて包括職員からお話する。	1	20
43	川井小学校福祉教育6年生 認知症サポーター養成講座	H29	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	小学校ニーズにお応えする形で、ケアプラザとして提供しうる福祉啓発事業を行う。活動を通して、小学生との交流、顔の見える関係づくりの構築を目指す。さらに、認知症についての理解を深める。	4：子ども・青少年		R4.11.17 地域包括支援センター職員を中心とした認知症サポーター養成講座を提供し、児童に向けた高齢者との接し方を紙芝居や寸劇を通してやさしく伝える。	1	67
44	協力医ケアマネ懇談会	H30	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・川井地域ケアプラザの協力医を招き、地域で活動するケアマネージャー等が、訪問診療等の医療連携に関する課題、担当ケースの医療面での不安などを情報交換することにより、より良いネットワークづくりの場とする。	6：事業者		4月27日、10月26日、1月11日実施 (内容)地域のケアマネージャーが参加し、協力医を囲み、日頃のケース対応や医療との連携に関する悩みなどを話し合う	3	17
45	都岡小学校人権学習3年・4年	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学校ニーズにお応えする形で、ケアプラザとして提供しうる福祉啓発事業を行う。活動を通して、小学生との交流、顔の見える関係づくりの構築を目指す。	4：子ども・青少年		3年、4年の「フレンドシップ学年」合同で実施。3年生に車いすユーザー在籍のため、車いすでも参加できる活動提供の依頼となり、川井ポッチャ審判員の協力を得て障がいのある車椅子ユーザーとのポッチャ大会を提供。	1	113